

2026AW

トレンドガイド

15

端正なテーラリングを軸に、細身とボリューム、クラシックと未来感が交差する2026年秋冬。今季を読み解く15のキートrendを、選びやすくまとめました。

15 KEY TRENDS

AUTUMN / WINTER 2026

15

2026AW / SEASON REPORT

THE SEASON

今季の大きな流れ

ミニマルな土台は残しながら、服に装飾・感情・意外性が戻ってきたシーズン。端正な服をそのまま整えて着るより、シルエットを誇張し、相反する素材やムードを重ねることで、新しいバランスをつくっています。

01 / TAILORING & PROPORTION

形を揺らすテーラリング

スーツやジャケットは引き続き中心。ただし、強い肩、絞ったウエスト、クロップド丈やマキシ丈、ドロップウエスト、コクーンやバルーンなど、身体との距離や重心を大きく動かしています。細身とオーバーボリュームが同じシーズンに並ぶこと自体が、今季らしい変化です。

02 / ROMANCE & MEMORY

記憶をまとうロマンティック

レース、リボン、フリル、ベルベット、花柄、チェックなど、歴史や手仕事を感じる要素が復活。上品に整えるだけでなく、重いブーツ、レザー、テーラードと混ぜ、少し影のあるロマンティックへ。古着や受け継いだ服のような「愛着」も、今季を読み解くキーワードです。

03 / TEXTURE & CONTRAST

素材の対立を楽しむ

黒、ブラウン、グレーなど重い色を土台に、赤やピンク、メタリックを効かせる配色が目立ちます。ファー、シアリング、ジャカードの豊かな質感と、PVC、ラテックス、コーティングの人工的な光沢を同時に使い、懐かしさと未来感を一着の中で衝突させます。

04 / REAL LIFE & DRAMA

現実の服にドラマを足す

レイヤード、ボンバー、パフォーマンス素材など、実用的な服も継続。ただし、オーガジーやレース、構築的なウエスト、メタリックなどを重ね、機能性だけでは終わらせません。日常に着られる服をベースに、一点の強いフォルムや素材で印象を変える方向です。

つまり2026AWは、ベーシックを捨てるのではなく、形・素材・重ね方のどこかに少し強い選択を加えるシーズンです。

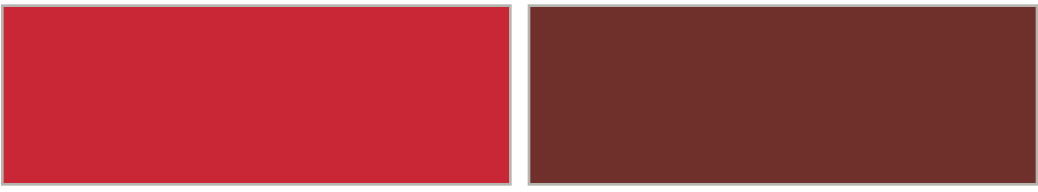
2026AW / TREND COLOR PALETTE

COLOR PALETTE

今季の色は、深みと鮮やかさ。

NYFWのPantone発表と、ミラノ／パリのランウェイ報道、日本のトレンド記事を照合。深いニュートラルを土台に、赤・紫・黄を強く効かせ、くすみピンクとオリーブで落ち着きをつくる色構成です。

01 RED



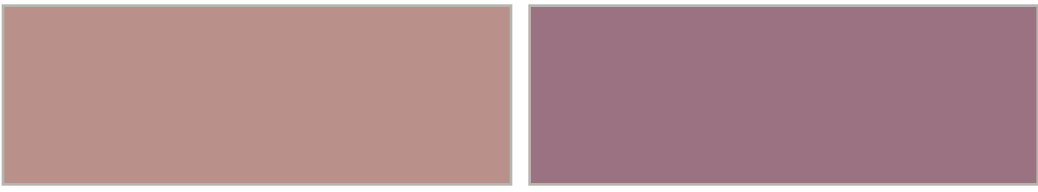
チェリーレッド

レッドマホガニー

主役級の差し色「レッド」

チェリーレッドの鮮やかさと、ブラウンを含んだレッドマホガニーの深みが共存。小物だけでなく、コートやドレスなど大きな面積で見せる提案も目立ちます。

02 DUSTY PINK



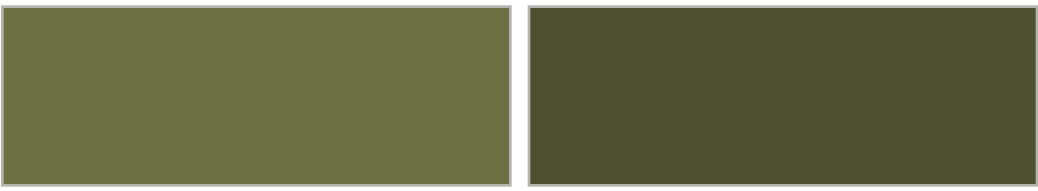
クレイピンク

モーヴピンク

甘さを抑えた「くすみピンク」

ベージュを含んだクレイピンクと、紫みを帯びたモーヴピンク。白やグレーが混ざったような穏やかな色調で、ロマンティックな服を落ち着いて見せます。

03 OLIVE GREEN



オリーブグリーン

バーントオリーブ

落ち着きのある「オリーブグリーン」

ミリタリーの印象だけに寄らず、端正なジャケットやドレスにも広がる自然色。バーントオリーブの複雑な深みが、黒・ブラウン・温かみのある白をつなぎます。

04 YELLOW & PURPLE



クリームイエロー

アカシアイエロー

ロイヤルパープル

鮮度を上げる「イエロー＆パープル」

クリームのような淡い黄から、発光感のあるアカシアイエローまで幅広く登場。ロイヤルパープルやエッグプラントの濃色も、ランウェイで強い存在感を示しました。

05 UPDATED NEUTRALS



ウォームホワイト

ダークグレー

トフィーブラウン

ブラック

ネイビー

素材感で更新する「定番ベーシック」

温かみのある白、ダークグレー、トフィーやモカのブラウン、ブラック、深いネイビーが土台。マット・起毛・透け・艶を重ね、同系色に奥行きを出します。

HOW TO USE

このガイドの使い方

01

15トレンドをざっくり見る

まずは全体の流れを眺める。詳しく覚えなくてOK。

02

気になる色や形に注目する

日常の服とのつながりを楽しむ。

03

好きなコーデ写真を3枚送る

写真3枚をAIが分析し、ECサイトで服を探すための検索ワードを提案。

この資料のゴール

トレンドを知ることより、
自分が惹かれる方向を見つけること。

MODERN TAILORING

モダンテーラリング



クロップド&レイヤード

ロングジャケット

ショートジャケット

ウエストコート

端正なスーツが、強調した肩やゆるく流れるシルエット、シャツ&タイの重ね方で新鮮に。クロップド丈やロング丈、ウエストコートなど、ジャケットの形にも幅が出ています。仕事着のきちんと感を脇役にせず、スタイリングの主役として楽しむ流れです。

RUNWAY REFERENCES

Givenchy / Tod's / Saint Laurent /
Gucci / Tom Ford

ORIGINAL ILLUSTRATION
FOR TREND COMPARISON

PEPLUM

ペプラム



レースペプラム

フレアペプラム

構築的ペプラム

アシンメトリー

ウエストまわりに立体感をつくるペプラムが再浮上。レースやフレアの華やかなタイプだけでなく、ジャケットの裾を彫刻的に広げた構築的なデザインも目立ちます。甘さを添える装飾から、全身のバランスを変えるシャープなシルエットへと広がっています。

RUNWAY REFERENCES

Dior / Givenchy / Stella McCartney / CFCL / Ashlyn

ORIGINAL ILLUSTRATION
FOR TREND COMPARISON

SHRUNKEN & SLIM

シュランケン&スリム



ウエストシェイプ

ショートジャケット

クロップドジャケット

ロング&スリム

オーバーサイズ一辺倒だった流れから、身体に沿う細身のバランスへ。ウエストを絞った短めジャケットやコンパクトなトップスに、スリムなパンツや縦長ボトムを合わせる着こなしが増えています。90年代を思わせる、すっきりと緊張感のあるシルエットが新鮮です。

RUNWAY REFERENCES

Saint Laurent / Gucci / Tom Ford /
Celine / Miu Miu

ORIGINAL ILLUSTRATION
FOR TREND COMPARISON

ROUND VOLUME

ラウンドボリューム



- ワイドショルダー
- エッグシェイプ
- バルーンパファー
- コクーンコート

肩や背中を丸く包むコクーンコートや、空気を含んだようなパファーが存在感を放ちます。エッグシェイプや大きく張り出す肩など、身体との間に余白をつくるフォルムがポイント。防寒着のボリュームを重たく見せず、やわらかな彫刻のように楽しむ流れです。

RUNWAY REFERENCES
Louis Vuitton / Celine / Balenciaga / Loewe / Isabel Marant

ORIGINAL ILLUSTRATION
FOR TREND COMPARISON

DROP WAIST

ドロップウエスト



ローベルト

ロングチュニック

フリンジヘム

ドロップウエストドレス

腰位置を低く見せるローウエストと、1920年代を思わせる縦長のバランスが復活。ローベルトや長いチュニック、腰下から動きが出るドレスなど、重心を下げるディテールが鍵になります。サテンやフリンジを重ねることで、歩くたびに揺れる夜の華やかさも加わります。

RUNWAY REFERENCES

Chanel / Lanvin / Miu Miu /
Ferragamo / Khaite

ORIGINAL ILLUSTRATION
FOR TREND COMPARISON

NEW ROMANTIC

ニューロマンティック



ティアードフリル

オフショルダー

ビッグボウ

レース×ミリタリー

フリル、リボン、レース、サテンといった甘い要素が、より大胆なボリュームで登場。繊細なブラウスやティアードドレスを、重いブーツやミリタリー、構築的なアウターと組み合わせます。懐古的なロマンティックをそのまま再現せず、少し強く自由なムードへ更新しています。

RUNWAY REFERENCES

Dior / Chloé / Simone Rocha /
Fendi / Valentino

ORIGINAL ILLUSTRATION
FOR TREND COMPARISON

HERITAGE CHECK

ヘリテージチェック



グレンチェック

タータンチェック

ハウンドトゥース

カラフルチェック

オンブレチェック

タータン、グレンチェック、ハウンドトゥース、オンブレ、カラフルチェックまで、伝統的な柄が幅広く登場。クラシッ
クなコートやスーツだけでなく、異なる柄を重ねたり、鮮や
かな配色や大きなスケールで見せたりするのが今季らしさで
す。懐かしいチェックを、自由なミックスでモダンに更新し
ています。

RUNWAY REFERENCES

Dior / Chanel / Chloé / Dries Van
Noten / Louis Vuitton

ORIGINAL ILLUSTRATION
FOR TREND COMPARISON

ANIMAL PRINT

アニマルプリント



- レオパード
- モノクロスポット
- スノーレオパード
- ゼブラ

レオパードやゼブラなどのアニマル柄が、コートやセットアップといった大きな面積で大胆に回帰。黒との強いコントラストだけでなく、グレーや白を基調にした淡いスノーレオパードも目立ちます。野性味を前面に出すだけでなく、端正な服に取り入れてて上品に見せるのが新しい流れです。

RUNWAY REFERENCES
Khaite / Bottega Veneta / Tom Ford
/ Celine / Balmain

ORIGINAL ILLUSTRATION
FOR TREND COMPARISON

DRAMATIC FLORALS

ドラマティックフローラル



ボタニカルプリント

フラワー刺繍

ベルベット刺繍

ジャカードフローラル

黒地に浮かぶ花柄やジャカード、刺繍、立体的なフラワー装飾が秋冬の装いに広がります。軽やかな春の花柄とは異なり、ベルベットのような深い質感や暗い色調、大きなモチーフで見せるのが特徴。コートやドレスを一枚で主役にする、重厚でドラマティックな花の表現です。

RUNWAY REFERENCES

Dries Van Noten / Givenchy / Dior /
Ralph Lauren / McQueen

ORIGINAL ILLUSTRATION
FOR TREND COMPARISON

10 SHEER & LACE

シアー & レース



ブラウンレース

ブラックレース

シアートレンチ

レーススカート

透ける素材とレースを重ね、秋冬にも肌の見せ方を軽やかに調整するスタイルが継続。ブラウンやブラックのレース、シアーなスカートやアウターを、ニットやシャツの上に重ねます。繊細な素材をコートやテーラードと合わせ、やわらかさと強さを同じ装いに共存させるのがポイントです。

RUNWAY REFERENCES

Saint Laurent / Fendi / Prada / Tom Ford / The Row

ORIGINAL ILLUSTRATION
FOR TREND COMPARISON

11

FUR & SHEARLING

ファー＆シアリング



ロングファーコート

ブラックファー

ムートンジャケット

ファートリミング

ファーやシアリングが、ロングコートやムートンジャケットだけでなく、襟・袖口・バッグなど部分使いにも広がります。長い毛足や大きなボリューム、深い色で見せるタイプが印象的。素材そのものの存在感を生かし、冬の装いに温度とドラマを加える流れです。

RUNWAY REFERENCES

Valentino / Gucci / The Row /
Chanel / Bottega Veneta

ORIGINAL ILLUSTRATION
FOR TREND COMPARISON

12

VELVET & TAPESTRY

ベルベット & タペストリー



ベルベットドレス

タペストリーコート

ベルベツツ

ブロード

ベルベット、ジャカード、ブロードなど、室内装飾やアンティークの布を思わせる重厚な素材が注目されています。光を受けて色が変わる毛並みや、織りで生まれる柄の奥行きが特徴。ドレスだけでなくスーツやコートにも使われ、日常の装いに静かな華やかさと特別感を加えます。

RUNWAY REFERENCES

Lanvin / Dries Van Noten / Giorgio Armani / Givenchy / Dior

ORIGINAL ILLUSTRATION
FOR TREND COMPARISON

13 BLACK + RED

ブラック+レッド



シューズで赤

レッドセットアップ

レッドファー

バイカラードレス

深い黒をベースに、鮮烈な赤を一点または大きな面で効かせる配色が存在感を放ちます。靴やバッグだけを赤にする差し色から、ドレスやセットアップ、ファーまで赤で覆う大胆な見せ方まで幅広く登場。黒の重さと赤の熱をぶつける、秋冬らしい強いコントラストです。

RUNWAY REFERENCES

Balenciaga / Bottega Veneta /
Chanel / Dries Van Noten / Lanvin

ORIGINAL ILLUSTRATION
FOR TREND COMPARISON

14

BOMBER REVIVAL

ボンバーリバイバル



- ツイード調
- ファーカラー
- メタリック
- キルティング

ボンバージャケットが、光沢素材やキルティング、ファーカラーなど多彩な表情で再登場。肩や袖に丸みを持たせたフォルムや、短い丈で重心を上げるバランスが目立ちます。ドレスや細身のボトム、端正な服と合わせ、スポーティーな定番を都会的に更新する流れです。

RUNWAY REFERENCES

Chanel / Louis Vuitton / Isabel Marant / Hermès / Coach

ORIGINAL ILLUSTRATION
FOR TREND COMPARISON

15 TECH SHINE

テックシャイン



ブラックコーティング

レッドグロス

シルバーメタリック

クリアアウター

PVC、ラバー、コーティング素材、メタリックなど、人工的な光を放つ質感が増えています。黒や赤の濡れたような艶、シルバーの反射、透明なアウターなど、素材の表面そのものがデザインの主役。雨や寒さを防ぐ実用的な服に未来的な輝きを重ね、秋冬の装いをシャープに見せます。

RUNWAY REFERENCES

Courrèges / Loewe / Saint Laurent /
Junya Watanabe / Tom Ford

ORIGINAL ILLUSTRATION
FOR TREND COMPARISON

RUNWAY TO REAL LIFE

コレクションから、私たちの日常へ。

ここまで紹介したのは、2026年秋冬のコレクションで目立った15のトレンドです。
そこで見られた色や素材、シルエットが、日常に取り入れやすい形へと変わり、私たちの身近な服にも少しずつ表れていきます。

お店で服を見るときに、

「あのガイドで見たトレンドが、こういう形になっているのかも！」

そんなふうに、つながりを探してみるのも楽しみ方のひとつです。

時間をかけて広がるものもあるので、これからの変化にもぜひ注目してみてください。

では今、日本のブランドはどんな着こなしを提案しているのでしょうか。ここからは、身近に取り入れやすい3つの方向をご紹介します。



01 LAYERED

レイヤード

服を重ね、色・素材・丈の違いで奥行きをつくるスタイル。

02 RELAXED TRAD

ゆるトラッド

伝統的できちんとした装いに、ゆとりやカジュアルさを加えるスタイル。

03 DECORATIVE

デコラティブ

フリルや装飾、立体的な形などで華やかさを楽しむスタイル。

COLOR

色から、ひとつ取り入れても。



グレー



赤・ボルドー



ブラウン



ネイビー

MATERIAL

ファー / レザー / スエード / ベロア / シアー / ツイード

全部取り入れなくて大丈夫。「好き」と思うものを、ひとつから。

YOUR NEXT STEP

ここから、自分向けの検索ワードへ

03 好きなコーデ写真を3枚

写真3枚をAIが分析し、画像に写るアイテム、形、素材、柄、ディテールを見分けます。結果は、ZOZOTOWNなどのECサイトでそのまま試せる検索ワードとして提案します。

AI画像分析について

1ユーザー3回まで

画像は分析のためだけに一時送信され、サイト上で公開・保存・再配布されません。

ウェブアプリを開く

<https://trend-guide-2026aw.ikuramakichan.chatgpt.site>

RESEARCH NOTES

調査範囲と出典

2026年秋冬のウィメンズコレクションについて、モード誌・ファッション誌・現地ランウェイレポートを横断。複数媒体で共通して確認でき、実際の発表ルックにも現れている流れを15項目に整理しました。

- Vogue / Milan FW26

<https://www.vogue.com/article/6-key-takeaways-from-milan-fashion-week-fall-winter-2026>

- Vogue / Paris FW26

<https://www.vogue.com/article/key-takeaways-from-paris-fashion-week-fall-winter-2026>

- ELLE / Fall 2026 Fashion Trends

<https://www.elle.com/fashion/shopping/a73393083/fall-2026-fashion-trends/>

- Harper’s BAZAAR / Fall 2026 Runway Trends

<https://www.harpersbazaar.com/fashion/fashion-week/a70735627/fall-2026-runway-trends/>

- WWDJAPAN / 2026-27AW

<https://www.wwdjapan.com/articles/2347389>

IMPORTANT

ブランド名はトレンドの参照情報です。掲載ブランドによる公認・提携・推奨を示すものではありません。イラストは各ブランドの発表ルックを参照し、トレンド理解のために独自に再構成しています。